

茨城県国際理解教育推進協議会  
会長 石川 哲夫 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

団体名 福)茨城県社会福祉協議会 担当者名 阿久津

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成21年7月30日(木) 11:00 ~ 15:00
実施場所	茨城県総合福祉会館 4階 中会議室
参加者と人数	茨城わくわく学園生きがい創造課程 国際交流講座 受講生21名
派遣講師名と出身国	講師名: タスファイエ・ガライヤ 出身国: エチオピア
活動の内容	講師出身国の紹介 講師出身国のあいさつ等簡単な会話等の紹介 講師出身国の代表的な茶菓を賞味しながらの交流会
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピア全体のことではなく、講師の考え方、これまでの人生経験など楽しい講座であった。</li> <li>・自身の来歴から始めて、エチオピアに施設を造るまでの経緯に至るまで幅広くお話しいただき、とても面白かった。先生のお話の通り、「国際交流は心」です。エチオピアに対する熱い思いも伝わりました。</li> <li>・笠間で焼物をやられている方であり、日本のこともよくわかっているようである。エチオピア国内のことを、もう少し詳しく話ができればよかったと思う。</li> <li>・エチオピアの国内事情についての説明は少なかったが、貧困国にありながら、講師がアメリカ～日本と積極的な生き方には感動した。</li> <li>・講師が陶芸家で絵画もやっているとのもので、これまでのエチオピアのイメージが全くなく、新しい感覚を持った人がおられると実感した。</li> <li>・みんな一緒に食事ができてよかった(口の字に囲んで)</li> </ul>
担当者の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に受講生に取ったアンケートの内容や、講義中に寄せられた質問について、丁寧に対応していただいた。</li> <li>・講師の都合から1時間遅れての講義開始となったが、昼食休憩の時間を活用し、ランチスルー形式の交流のご提案により運営したことから、これまでに無い楽しい展開となった。また、会場の設営も口の字とし、講師と受講生が、受講生がほかの受講生と顔を見ながら交流できるようにコーディネートして下さったため、受講生からも大変好評であった。</li> </ul>

